



# 海蔵寺だより

第25号

令和4年12月  
発行

お盆から年末にかけ、雨が多かった今年。また、国内・世界情勢において共に衝撃的なニュースが相次いだ今年ですが、海蔵寺はおかげ様で無事に年末を迎えることが叶いました。皆様は今年一年、どのようにお過ごしになったでしょうか。

今回はこの話題から、仏教が勧める、理想の「時間の過ごし方」を考えてみたいと思います。

そくじそくしょ

## 即時則所



この「即時則所」という言葉は、私が修行僧堂である正法寺に入ったその日に、堂長老師である盛田正孝老師より賜った言葉です。意味は単純、「**今この時、この場所**」という事です。この言葉をさらに解釈すると、一時一時、今その場を大切に生きなさい、という意味になりますが、これは曹洞宗の一つの眼目でもあります。

まず、曹洞宗を実践する人が一番目にするのは、坐禅です。曹洞宗には、**禅定、持戒、智慧**という三つの目標があり、坐禅はその一つです。これは誰が言うにも同じ事です。しかし坐禅だけでは、曹洞宗の修行は成り立ちません。曹洞宗開祖の道元禅師は、食事や調理に関わる事を説いた「典座教訓」や、トイレ・浴場での作法や意義を説いた「正法眼蔵：洗淨」など、生活について

の教えも事細かに説いています。曹洞宗では、**その生活すべてを修行とする**のです。

つまりここから見えてくるのは、「**何をしている時でも、誠意をもって一生懸命やりなさい**」という思いです。時間を取って坐禅をする事まではいかななくても、これなら皆さんの日常の中でもできそうですね。

実は曹洞宗の坐禅は、悟りを得るための修行ではありません。道元禅師の教えには、<sup>しゅしょういつとう</sup>「**修証一等**」という言葉が出てきます。修行と悟りは、実は同じものだという意味です。坐禅をするときは、日常の悩みをいったん置いておいて、心を静かにしようとするですね。道元禅師は、坐禅をするときのように、**日々を大切に、心静かに生きることが悟りであり**、それを実践している人が、まさに仏様であるということです。もちろん、それは何も考えないようにする、という事ではなく、美しさも、気だるさも、拒まず区別なく感じ取ることが肝心なところです。その為の道しるべ、または目標点に、先に挙げた**持戒と智慧**があります。

それは例え、現代的な場面であってもいい。工作中や、何気ない瞬間であってもいいのです。自分が一瞬穏やかな気持ちの仏様になれた瞬間に、悟り、心の安らぎ、真理、呼び方はたくさんありますが、それは突然訪れるのかもしれない。



## 新墓地東屋に新しい ベンチが設置されました！



今年9月に、  
新墓地のあずまの  
ベンチを新調致し  
ました！

もともとのベンチは木製で老朽化が進んで  
おりましたが、交換により丈夫な金属製の  
ベンチとなりました！

## 相次ぐ中止…なかよし保育園坐禅会



以前は月に  
一度のペースで  
開催しておまし  
た、隣のなかよし  
保育園の園児  
さんを対象とした

坐禅会。中止が相次ぎ、今年中には**2回の開催を見ましたが**、結局9月の開催を最後に、再開が待たれるうちに年末となりました。

私(長男)は園児たちと顔を合わせるのがまだ2回目。卒園までに園児の皆さんと仲良くなれるかが懸念されるどころです…。

## ～海蔵寺跡地参拝～

10月20日  
坪貝地区にある  
海蔵寺史跡にて。

毎年恒例、  
春と秋の海蔵  
寺跡地参拝。  
種里地区にも  
あるこれらの  
石塔は、どちらもお檀家さんの敷地内にあり、  
好意により清掃をして頂いております。



## 海蔵寺ウェブサイトが オープンしました！



兼ねてより制作しておりました、**海蔵寺のウェブサイト**が、製作開始から一年を経てようやく完成へとこぎつけました。

サイト内では、境内の案内や道具の使い方、海蔵寺の歴史から供養の仕方まで広く解説しております。またこれから先、行事の情報や出版物などもサイトで閲覧できるようになる予定です。

ウェブサイトはすでにネット上に公開されておりますので、ぜひ、下のURLよりアクセスして頂けると幸いです。

↓↓↓↓↓

<https://kaizouji.sakura.ne.jp>

また、未来の話となりますが、海蔵寺のツイッター、インスタグラムのアカウントも随時開設を検討しておりますので、ぜひご期待ください！

## - 編集後記 -

今年は雨やコロナで閉じこもりがちな日が多かった気がします。しかし、その中で私は中々に色々な事がありました。曹洞宗の県・市青年会役員の拝命、僧堂と一緒にあった、栗原市、盛岡市のもと修行僧の方のご本寺の大本行などなど。

最近、お葬式の前の納棺経の時に檀家さんとお話をさせて頂くようになりました。お名前は まだ記憶できていない現状ですが、人付き合いが減りがちな昨今、お檀家さんとお話ができる機会に心が潤うのを感じます。改めて人付き合いの大切さを痛感します。体も、そして心も健康に、新たな年を迎えたいですね。今年一年、皆さん本当にありがとうございました！

合掌